

<平成26年度春季大会シンポジウム企画案>

ハタ科魚類における繁殖の生理生態と種苗生産

日時・場所：平成26年3月27日（木）9:20～17:35・第 x x 会場

企画責任者：征矢野 清（長大海セ）・照屋和久（水研セ西海水研）・中田 久（長崎水試）

9:20～ 9:30 趣旨説明 征矢野 清(長大海セ)

I. ハタ科魚類の繁殖機構

座長:照屋和久(水研セ西海水研)

9:30～10:00	1. 配偶子形成・性転換のメカニズム	小林靖尚(岡山大臨海)
10:00～10:30	2. 最終成熟・産卵のメカニズム	泉田大介(長大院水環)
10:30～11:00	3. 産卵関連行動	征矢野 清(長大海セ)
11:00～11:30	4. 孵化仔魚の変態・遊泳・行動	河端雄毅(長大海セ)

II. ハタ科魚類の種苗生産・養殖技術

座長:中田 久(長崎水試)

12:40～13:10	1. 人為催熟・採卵技術	照屋和久(水研セ西海水研)
13:10～13:40	2. 生残率の向上を目指した種苗生産技術	阪倉良孝(長大院水環)
13:40～14:10	3. 形態異常軽減技術	宇治 督(水研セ増養殖研)
14:10～14:40	4. ウイルス対策技術	森 広一郎(水研セ増養殖研)
14:40～14:50	休憩	

座長:征矢野 清(長大海セ)

14:50～15:20	5. マハタの種苗生産・養殖技術	土橋靖史(三重水研)
15:20～15:50	6. クエの種苗生産・養殖技術	中田 久(長崎水試)
15:50～16:20	7. キジハタの種苗生産・養殖技術	南部智秀(山口水研セ)
16:20～16:50	8. スジアラの種苗生産・養殖技術	武部孝行(水研セ西海水研)

III. 総合討論

座長:征矢野 清・照屋和久・中田 久

16:50～17:30	総合討論	
17:30～17:35	閉会の挨拶	照屋和久(水研セ西海水研)

企画の趣旨

ハタ科魚類は、我が国をはじめ、東アジア・東南アジア諸国を中心に養殖対象種として注目されている水産重要種である。また本科魚種は、沿岸生態系において上位に位置する魚種であることから、海洋環境の保全・回復の観点からも重要視されている。近年、本科魚種の繁殖に関わる生態学的・生理学的研究が急速に進み、本科魚種に特徴的な多くの性質が明らかとなった。加えて、

種苗生産技術の開発が積極的に進められ、科学的に裏付けられた種苗生産の実施が可能となりつつある。そこで、ハタ科魚類の繁殖に関わる最新の生理生態学的情報および種苗生産の最前線情報を理解し、種苗生産・養殖・資源管理を戦略的に進めるための討議を行うために、このシンポジウムを企画した。